

【第2次札幌新まちづくり計画 平成20年度進行管理評価結果】

『政策目標2 主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街』

重点課題1 市民の主体的な地域づくりの支援

< 施策の基本方針 >

札幌市自治基本条例の下、市民が主体的に考え、行動できる街を目指し、まちづくりセンターを拠点として、まちづくり活動の機会の充実や、まちづくりに必要な情報の積極的な提供、まちづくり活動を行う団体間の連携の促進などを行うとともに、町内会活動やボランティア活動などの市民活動を一層応援し、市民が主役のまちづくりを進めます。また、市民自治の実践として、まちづくりセンターの地域による自主運営化や雪対策の推進など、市民の主体的な活力あふれる地域づくりを支援します。

事業費の進捗率

(H19決算額 + H20予算額) 957,809千円 / (計画事業費) 1,363,000千円 : 70.3 %

施策別の主な取組内容

19年度(実績)

【施策1】市民自治の実践による地域づくりの推進
 ・まちづくりセンター地域自主運営化推進及び区民協議会の全区設置へ向け、地域代表や有識者等で構成するアドバイザー会議での検討や地域説明を実施。
 ・地域と創る冬みち事業で新たに105の町内会と懇談会を実施。
 【施策2】地域の連携によるまちづくりの推進
 ・事例調査等を通じ大学との連携のあり方や仕組みを研究。また、学生まちづくりプレゼンテーション等、学生と地域の連携を促進する取組を実施。
 【施策3】市民の主体的な活動推進のための環境づくり
 ・市民まちづくり活動の促進に向け条例を制定。
 ・地域意見を反映し里塚・美しが丘地区センターを建設。
 ・全区でまちづくり参加入門教室を開催。
 ・さっぽろ元気NPOサポートローンを運営、8件計31,500千円の融資実行。

20年度(予定)

【施策1】市民自治の実践による地域づくりの推進
 ・準備の整った希望地域でまちセン地域自主運営化を開始。次年度実施希望地域の地域活動ビジョン策定を支援。
 ・地域と創る冬みち事業では、新たに109の町内会で懇談会等を開催。既実施町内会対象のアンケート調査実施(35千世帯)。
 【施策2】地域の連携によるまちづくりの推進
 ・「(仮称)大学地域連携ネットワーク会議」の設置に向け、各大学の意向調査や、相談窓口設置の働きかけ等を実施。
 ・学生まちづくりプレゼンテーションを継続実施。
 【施策3】市民の主体的な活動推進のための環境づくり
 ・市民まちづくり活動促進基本計画策定、寄付を原資とする活動資金助成、まちづくりフェスタ等を実施。
 ・参加きっかけイベント及び講座から体験、仲間づくりまでの一環した教室の開催、総合的なまちづくり情報発信やボランティアをつなぐ仕組みの検討。

市民・企業等との協働の状況

市民との連携、市民参加 まちづくりセンター地域自主運営化や区民協議会のあり方等の検討にあたっては、地域代表等で構成するアドバイザー会議から意見を伺ったほか、地域の会議へ出向いて説明、意見聴取を行っている。また、雪対策等についての懇談会等を地域の町内会で開催し、多くの市民にご参加いただいている。
 企業等との連携・協働 冬の快適な歩行空間の確保のため、企業の協力を得て砂箱を設置している他、750店舗のコンビニや18商店街の協力を得て、危険箇所への砂まきを行っている。
 市民・企業等が参加しやすい環境づくり 市民委員などから意見を伺う会議の開催にあたっては、傍聴希望者が参加しやすいよう、音響機材を備え、夜間に開催した。会議録はホームページで公開したほか、パソコンが使用できない方に配慮し、区役所やまちづくりセンターにも配架したほか、検討過程について各区単位で説明を行いご意見をいただいた。さらに、随時一般の意見を受け付け、会議に寄せられた意見と、それに対する回答もホームページで公開し、直接参加していない市民も議論に関心を持てるよう配慮した。

評価(成果)と課題

【施策1】市民自治の実践による地域づくりの推進
 ・まちセン地域自主運営化は、地域の意見を取り入れ地域本位の制度を構築したところ、数か所が20年度からの実施意向を表明。更なる推進には地域の方々が「運営したい」と思える環境づくりと、継続・安定的に運営を行うための行政支援の仕組みづくりが必要。
 ・地域と創る冬みち事業に参加した227町内会では、住民自らの行動や地域・事業者・行政の協働など、地域課題解決の取組を実践。一方、暖冬少雪のため効果を確認できるまで至らない地域が多数。また、地域によっては懇談会の出席率が低い地域も存在。
 【施策2】地域の連携によるまちづくりの推進
 ・大学連携は、学内で地域貢献活動が評価されないなど、大学の実情認識や課題の抽出・整理を実施。プレゼンテーション実施により学生のまちづくりへの参加意識を高揚。各地域でも、学生の柔軟な発想や行動力が、地域の活性化に寄与。
 大学との連携促進にはそのマネジメント、コーディネート機能が必要。学生の優良な提案を実際に活かす仕組みの構築が必要。
 【施策3】市民の主体的な活動推進のための環境づくり
 ・市民まちづくり活動を促進するための、寄付が原資の助成制度を含む条例を制定。
 資金以外の活動の場、情報、人材も含めた4つの支援を効果的、効率的に行う計画策定が必要。
 ・まちづくり参加入門教室に10区合計で約600名(公開講座含む)が参加し、新たな担い手の参加を促進。

今後の重点取組

・地域のまちづくりの拠点であるまちづくりセンターについては、地域の特性や思いが生かされる市民自治の実践の場として、継続的安定的に運営できるよう積極的に支援しながら、地域自主運営化を推進していく。
 ・冬の暮らしを豊かにするため、地域住民自らの行動や地域・事業者・行政の協働など、地域課題解決に向けた取組の実践を促進する懇談会等を実施していく。
 ・区民が区の課題を共有し、その解決に向けた方向性について皆が納得して合意し、市政に意見を反映していく「区民協議会」のあり方について、札幌市にふさわしい実効性のある仕組みづくりを進める。
 ・地域活動の更なる活性化に向け、新たな担い手を育成・発掘するとともに、活動への参加を希望する市民と参加者を求める団体や個人などを適切につなぐ仕組みづくりなどを行う。
 ・市民まちづくり活動促進基金による財政支援をはじめ、活動に必要な情報の提供や場の充実、人材育成など、市民まちづくり活動を促進する施策を総合的に展開する。

主な達成目標の状況

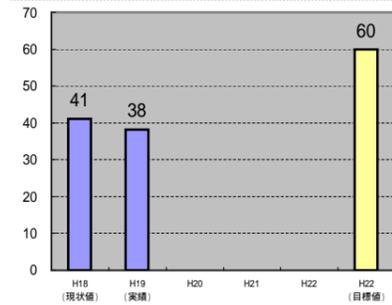
達成目標名	目標値(目標年度)	H18(現状)	H19(実績)
地域自主運営化したまちづくりセンター数	10カ所(H22)	-	検討
[地域と創る冬みち事業]参加町内会数	560町内会(H22)	186町内会	291町内会
市民による砂まきの割合の増加	70%(H22)	57%	56%
企業名入り砂箱の設置数	160基(H22)	79基	103基
区民協議会の設置区数	10区(H22)	3区	3区
[大学・地域連携]学生プレゼンテーション大会開催数(累計)	5回(H22)	1回	2回
市民まちづくり活動促進条例制定	制定(H19)	検討	制定
市民まちづくり活動促進基金設置	設置(H20)	検討	検討
「まち本」等活用講座受講者数	500人(H22)	127人	500人
里塚・美しが丘地区センター開設	開設(H20)	-	設置
まちづくり参加入門教室の開催数	20回(1区2回)(H21)	-	10回(1区1回)
子どものまちづくり体験事業の実施回数	10回(1区2回)(H22)	-	13回
[さっぽろ元気NPOサポートローン]融資件数(累計)	70件(H22)	29件	37件
[児童会館]子ども運営委員会設置数	児童会館、ミニ児童会館全館(H22)	12館	60館
[さっぽろ市民カレッジ]講座受講者数	4,200人(H22)	3,520人	4,835人

主な施設・サービスの整備水準

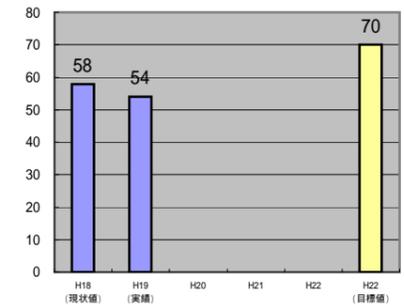
施設(サービス)名	整備水準	H18(現状)	H19(実績)
地区センター	24館(H22)	23館	24館(設置)

成果指標等の動向

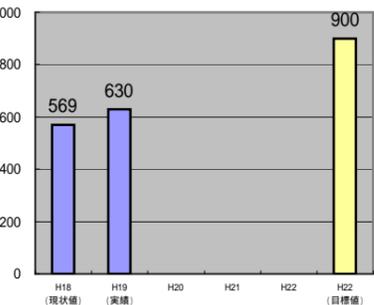
町内会、NPO、ボランティアなど市民まちづくり活動に参加経験のある人の割合(単位:%)



コミュニティ組織(町内会など)の活動が盛んに行われていると思う市民の割合(単位:%)



NPO認証法人数(札幌市に主たる事務所を置くもの)(単位:団体)



地域と創る冬みち事業に参画した町内会数(単位:町内会)

